

自然保護センターニュース



秋の妻平湿原

春にはミツガシワの可憐な白花で賑わう妻平湿原ですが、秋はひっそりとした佇まいで、次の春の訪れを待ちわびています。湿原の向こう側には高原のススキ原、頭上には青空が広がり、秋の清浄な空気を感じることができます。



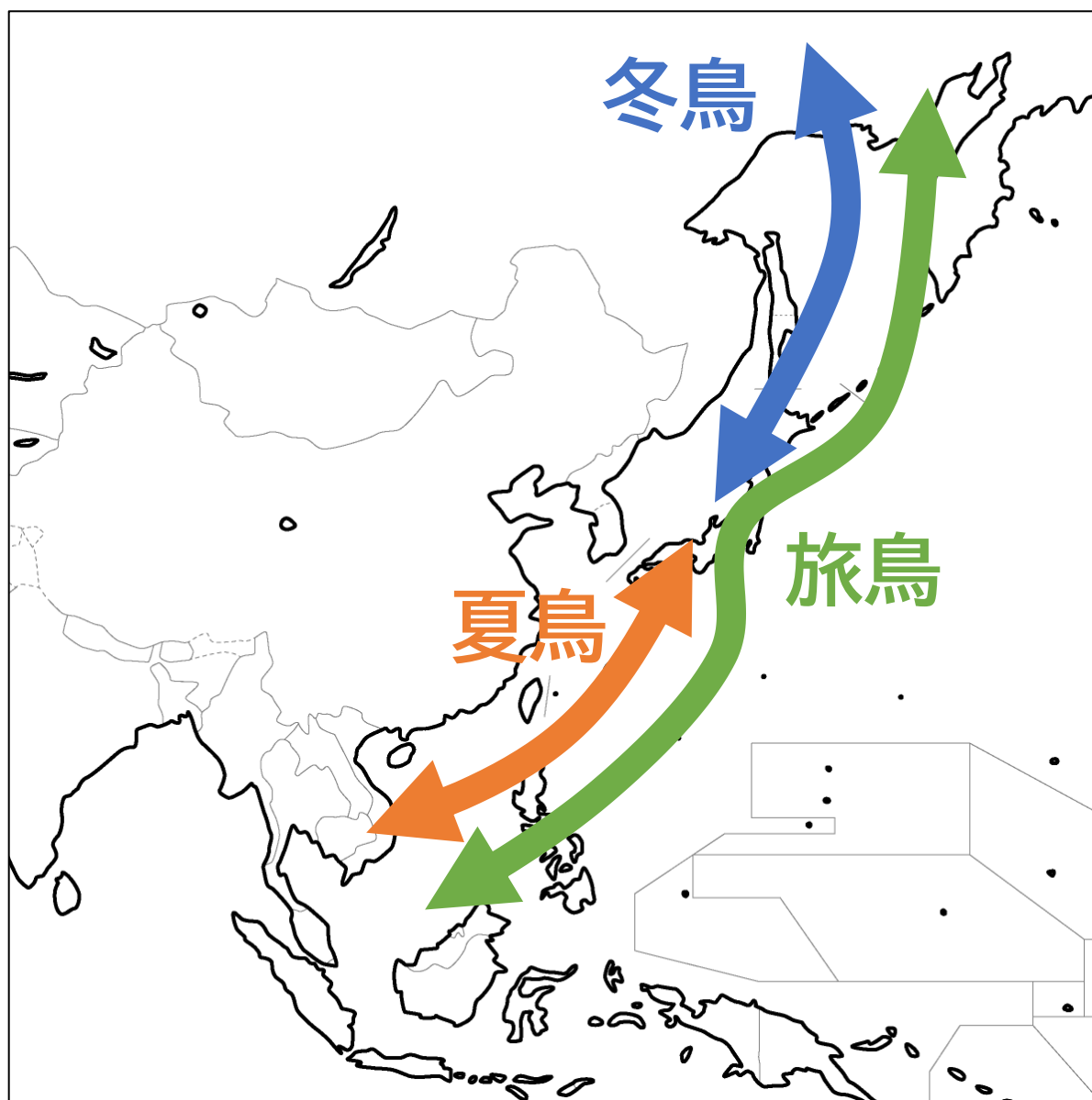
【季節の自然情報】世界渡り鳥の日

「世界渡り鳥の日（World Migratory Bird Day）」とは、渡り鳥とその生息地の保全の重要性を広く伝えるために、国連環境計画（UNEP）のもとで制定された国際的な記念日で、年に2回、5月と10月の第2土曜日がメインの日として指定されています。

渡り鳥は繁殖地、越冬地、休息地を求めて数千km以上の距離を移動します。例えば、シベリアで繁殖し、日本で越冬する鳥もいれば、東南アジアまで渡る種もあります。そのため、渡り鳥の保全には一国だけの保護では不十分で、渡りルート上にある複数の国が協力する必要があります。国際的な保全の取り組みとして、日本ではラムサール条約※¹やワシントン条約※²といった国際条約に加入しています。

※¹ ラムサール条約：水鳥の生息地保全を含む、湿地の保全と賢明な利用を目的とした国際条約

※² ワシントン条約：絶滅のおそれのある野生動植物の国際取引を規制する、絶滅危惧種の保護を目的とした国際条約



▲ 日本を通る渡り鳥の渡りルート概略図
(東アジア方面に渡るものもいる)



カシラダカ

秋期は山地の明るい林縁で群れています。冬になると少しずつ低地に下りてきて、主に農耕地や河原などで見られます。地上で草の実などを採食します。



シロハラ

県内では渡りの時期と冬期に見られます。平地から低山の薄暗い森林や屋敷林、社寺林、公園、庭などで見られます。地上で採食します。



ジョウビタキ

平地の明るい林縁や庭園などで見られます。ヒッ・ヒッカッ・カッと鳴く声が火打石の音に似ているため、火焚き（ヒタキ）の語源となったといわれます。



アトリ

県内では冬期と春・秋期の渡りの時期に見られます。山地や山麓の林、農耕地等で見られます。大きな群れを作るので、よく目立ちます。

※最新情報についてはホームページでご確認ください。

企画展

【恐竜の子孫！福井の鳥たち】

鳥類は羽毛を持つ獣脚類というグループの恐竜から進化したと考えられています。この企画展では、常設展示では見られないたくさんの鳥類剥製を展示します。

開催期間：9月12日（金）～11月9日（日）
場 所：自然保護センター本館 レクチャーホール



▲ 企画展の展示の様子



プラネタリウム ※参加費、申し込み不要

職員の生解説で季節の星座や天体を紹介します。また、星座にまつわる物語を上映します。

開催月日：毎週土曜、日曜、祝日
開催時間：10:00～、11:00～、13:30～、14:30～（約40分）

定 員：44名／回
場 所：自然保護センター観察棟

週末天体観望会 ※参加費、申し込み不要

福井県最大の口径80cm巨大望遠鏡で季節の星雲・銀河・星団・恒星などの天体を観望します。

開催月日：毎週土曜日
開催時間：19:00～21:00
場 所：自然保護センター観察棟



【団体向けプログラム】※要申込。10人以上を団体として取り扱いいたします。

プログラム名	定員	場所	期日・時間
館内・自然観察の森ガイド	—	センター本館　または 自然観察の森	申し込みに応じて実施
しおりづくり	30名／回	センター本館　工作室	
池ヶ原湿原のヨシ工作	30名／回		
天体観望会（昼・夜）	50名／回	センター観察棟	平日のみ 申し込みに応じて実施 （1・2月は休止）
プラネタリウム	44名／回		

※申し込み用紙はセンターHPに様式がございます。原則として1ヶ月前までにご連絡ください。
※プログラムの詳細等は電話・FAX・E-mailにてお気軽にご相談ください。